

セリアの事業戦略学ぶ

ウズベク
政府訪日団
社長と店舗視察

ウズベキスタン・サマルカンド州の政府関係者が8日、100円均一ショップを展開するセリア(大垣市)を訪れ、河合映治社長から事業戦略について話を聞いた。

一行はコビロフ・ルスタム副知事をはじめとする州政府関係者や企業関係者ら15人。「清流の国ぎふ」文化祭の一環で、岐阜市で9日に開かれるウズベキスタンの経済・観光セミナーに

参加するため来日しており、この日は県内でセリアやスーパーマーケットのバロー、旅行代理店、繊維業者などを訪れた。

セリア本社では、河合社長が事業について英語で説明。「私たちは100円の製品のみを売る世界で唯一の小売業者」と紹介し、店舗戦略や商品展開について説明した。

一行からは「海外ではどの国へ商品を卸しているか」「ウズベキスタンで売る場合、仕入れ値は」など具体的な質問が相次いだ。また一行は近くの店舗で買い物も楽しんだ。ルスタム副知事は「同じ値段で売るビジネスはとてもいい。(同国でも)特に女性が買うと思う」と話した。

古田肇知事は今年7月に同国を訪問し、同州と岐阜県との交流促進に関する基本合意書を交わした。今回が合意書に基づく初の交流事業となる。(宮本寛)



サマルカンド州政府の代表団に店舗内を紹介する河合映治社長(中央)＝大垣市本今町、セリアバロー大垣南店